



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長
渡部信
総幹事
金性済

Rev. Makoto WATABE
Moderator
Rev. Dr. Sungjae KIM
General Secretary

第 10 回日韓 NCC 協議会 共同声明

『正義と和解と共生平和を広げる宣教の道：日韓教会の使命』

韓国キリスト教教会協議会 (NCKC) と日本キリスト教協議会 (NCCJ) は、主イエス・キリストの恵みと導きによって 2015 年以降、4 年ぶりに第 10 回日韓 NCC 協議会を東京にて開催した。この協議会を通して確認した私たちの立場をここに表明する。

戦後、日本帝国主義による植民地支配から解放された朝鮮半島は、民衆の決して望まない南北分断と独裁体制に直面することとなった。NCKC は、1970 年代以降、韓国民主化闘争の隊列に共に立ち、NCCJ は戦争と植民地支配に対する責任を懺悔し、韓国キリスト教の民主化闘争を支援連帯してきた。日韓 NCC は和解と平和の主に導かれ連帯する中で、1984 年「東山荘会議」を通して世界の教会と共に朝鮮半島の和解と平和統一を願う、注目すべき働きを担うことをも経験した。

韓国では、2016 年～2017 年、ローソク革命によって文在寅政権が誕生し、社会的民主化が進展し、2018 年には 3 回にわたる南北首脳会談と 2 回にわたる朝米首脳会談が成功するなど、朝鮮半島の平和プロセスが急速に進展することとなった。一方、日本では、2012 年第 2 次安倍政権が誕生し、急激な右傾化が進んできている。特に、2013 年「特定秘密保護法」をはじめ、様々な安保関連法が制定され、さらに憲法 9 条の改正をもくろむことで戦争ができる国づくりを目指している。歴史修正主義に立脚したこのような流れによって立憲民主主義の根幹が揺さぶられており、戦争と植民地支配に対する責任はこれまでと同様放棄されたままである。朝鮮半島の平和体制の確立は、すなわち北東アジアの平和の定着を意味し、この課題の実現に向けて地域国家間の緊密な協力が要請されているにもかかわらず、韓国と日本両国間の協力関係は成立せず、葛藤の不協和音が継続している。日本軍「慰安婦」(性奴隷)問題と強制徴用労働者(徴用工)問題が解決されずにあることもその葛藤の一因となっている。

これらの問題の根底には戦後日本の天皇制の問題がある。天皇制を問うこと自体が今日に至るまでも根強くタブーとされる政治文化は克服されていない。これまで、明仁天皇によって、追悼と慰問の旅が繰り返されたが、結局、戦争と植民地支配の歴史責任が不問にされたまま、「平成」の 30 年が過ぎ、生前退位による天皇の代替わりがなされ、本年秋には、皇室の宗教行事に過ぎない「大嘗祭」(天皇の神格化)が国家行事として執り行われようとしている。これは憲法の政教分離原則を破り、信教の自由を脅かす恐れを抱いている。戦後 74 年間、日本は、戦争と植民地支配そしてその結果として、朝鮮半島の南北の分断と戦争に対するどのような責任ある態度も取らずにいる。これにより、北東アジアにおける和解と平和の実現は、まだ課題として残っている。



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長
渡部信
総幹事
金性済

Rev. Makoto WATABE
Moderator
Rev. Dr. Sungjae KIM
General Secretary

北東アジアの安全と平和の実現を妨げる問題として原子力発電所と核兵器のことも指摘せざるを得ない。日本においては 2011 年東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所による放射能流出事故が起きたにもかかわらず、今日まで日本政府は事件の真相を究明せず、地域住民たち、とくに子どもたちが受けた深刻な健康被害を隠蔽している。また、廃炉作業の安全性が疑問視されている状況にもかかわらず外国人労働者を動員している。一方、韓国政府は、脱核宣言にもかかわらず、新規原子力発電所を建設する実質的な原子力発電所拡大政策を進めている。これはすべて非常に憂慮すべき事態である。

私たちは、この深刻な現実を直視しつつ、発展的な日韓関係の形成と北東アジアの平和の定着のための教会間の協力の重要性を改めて認識し、さらに前向きな発想の転換によって両国政府が相互に協力することを期待している。特に、ハノイ朝米首脳会談以降、大きな困難に陥っている朝鮮半島の平和プロセスの進展のための多角的な努力が結実することを願ってやまない。

今日、日韓両国は先進産業社会が普遍的に直面する少子化高齢化と外国人移住労働者の持続的な増加の時代を迎えている。これは、国境に縛られず、絶えず利潤追求するグローバル資本主義が必然的に招いた現象である。その過程から生じた国内の貧富の差の拡大、社会的セーフティネットの劣化、さらにヘイトスピーチに象徴される外国人排斥も深刻な社会問題となっている。そればかりでなく、性的少数者をはじめとする様々な社会的少数者に対する差別と憎悪もまた看過できない問題となっている。

日本では戦後 74 年間温存されてきた在日コリアンに対する民族差別が朝鮮半島の情勢と日韓関係の悪化によってさらに深刻化している。特に 2010 年から始まった高校無償化から、日朝関係という外交問題と国民感情への配慮という、根拠なき理由によって朝鮮学校を差別的に排除する政策を政府が継続してきたことは、「官製ヘイト」と言うほかない。

日韓両国の社会には未だ根深い家父長的男性優位の体質が温存され、女性と子ども、そして高齢者の軽視が生じ、特に女性の身体の植民化と商品化が社会の病弊となっている。このことに、日韓両国の教会はわたしたちの身体と性が神から与えられたものであることを悟り、それらが営利と搾取の手段とならないように努めていかなければならない。

韓国では労働者の基本権が完全には保障されていないばかりでなく、相変わらず高い比率を占めている非正規労働者たちが非人間的な状況に置かれている。雇用許可制に縛られた移住労働者たちの待遇はさらに劣悪な状態にある。日本においても、これまでの技能実習制度の根本問題が何ら解決されないまま、入管法の改定による「特定技能」という在留資格の設置によって、移住労働者の人権侵害がさらに深刻化しようとしている。両国の教会は排除と嫌悪を乗り越えて、社会的少数者を受け容れる社会を実現するために献身することが求められている。



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org http://ncc-j.org

総会議長
渡部信
総幹事
金性済

Rev. Makoto WATABE
Moderator
Rev. Dr. Sungjae KIM
General Secretary

私たち日韓両国の教会は、疲弊した産業社会の矛盾を直視しながら、教会の存在理由として宣教とは何であるかを改めて確認しようとする。「キリストの体」としての教会についての再認識とは、止めどなき人口減少に伴う教勢衰退に対して教勢回復を期待することではない。それよりも、急激に変貌していくこの世界の辺境 (margins) において傷つけられ呻吟するいのちに、キリストと共に寄り添い、苦痛に共感しつつ、共に歩むことこそ、キリストがわたしたちに託された宣教の本質であるという信仰に従うものである。教会がその宣教の根本精神を忘却し、自己安逸と満足に浸り、さらには教会の中にさえ差別と排除を容認し、セクシュアルハラスメントをはじめとする暴力を黙認する場合、教会は地域社会の中で信頼を失うばかりでなく、孤立するほかないことをわすれてはならない。

「キリストの体」として教会は、聖霊に満たされ、いのちの喜びと感謝があふれる共同体を目指す。従って、この世に遣わされた「寄留者」として正義と平和、そしていのちが喪失されていくこの世において、さまよう魂に寄り添われるキリスト（ヘブライ書 3：12）に従う宣教の課題を託されている。

教会は、正義と平和、いのちの価値を実現する宣教の使命を担わなければならない。この度の協議会を通して、日韓教会は、北東アジアにおいてその高貴な使命を担うことを確認し、次の具体的課題をここに提示する。

提案

- ◆ 北東アジアの市民社会の連帯を通して朝鮮半島における平和体制を確立し、平和憲法 9 条を守り、さらに恒久的な平和のための「北東アジア共同の家」を建てることのできるよう、日韓両国の教会が協力する。
- ◆ 北東アジアは世界において核兵器の被害と原発事故の被害を共に経験した唯一の地域でありながら、核兵器と原子力発電所を放棄できずにいることを省み、将来日韓教会は全教会的な脱核運動を通して、いのちと平和を実現していくことに寄与する。
- ◆ 偏狭なナショナリズムを克服し、正しい歴史認識を共有するための、若い世代に対する歴史教育強化に日韓両国の教会は協力する。
- ◆ 社会と教会で蔓延している性の不平等とセクシュアルハラスメントを乗り越えて性の正義を実現するために、日韓教会は協力する。



NCC 日本キリスト教協議会

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-3-18-24 振替 00180-4-75788
TEL : 03-6302-1919 FAX : 03-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org <http://ncc-j.org>

NATIONAL CHRISTIAN COUNCIL IN JAPAN

JAPAN CHRISTIAN CENTER 24, 2-3-18 Nishiwaseda, Shinjuku-ku, Tokyo, 169-0051 JAPAN
Phone : 81-3-6302-1919 Fax : 81-3-6302-1920
E-mail : general@ncc-j.org <http://ncc-j.org>

総会議長
渡部信
総幹事
金性済

Rev. Makoto WATABE
Moderator
Rev. Dr. Sungjae KIM
General Secretary

- ◆ 両国教会間の協力と連帯のための青年リーダーシップと子どもたちに平和の世界に向けた感受性の育成のために、日韓教会が共同の努力を図る。
- ◆ グローバル経済の中で「南」の世界に貧困をもたらす責任を痛感しながら、難民・移住労働者など「寄留者」に寄り添い、その人権を守るために、両国教会は協力する。
- ◆ 韓日両国教会の間では、これらのすべての課題を円滑に遂行するために両教会の間のワーキンググループを組織して頻繁に協議する。

2019年5月31日

第10回日韓NCC協議会 参加者一同